



# 社協だより

第75号

## ■天王センター

TEL (018) 878-6538  
FAX (018) 878-7127

## ■昭和センター

TEL (018) 877-5017  
FAX (018) 877-4108

## ■飯田川センター

TEL (018) 877-2627  
FAX (018) 854-8251  
有線 3028

**緊急時に対応! = 備えあれば憂いなし**

## ボランティア スクールで体感



今年度のボランティアスクールは、多くの参加者が集えるように市内3カ所の会場に分かれて行われました。8月5日(日)は、飯田川公民館前を会場に羽城中学校・飯田川小学校の生徒・児童17名が参加し、8月6日(月)には、天王公民館を会場に天王中学校の生徒25名が参加しました。また、8月21日(火)には潟上市勤労青少年ホームを会場に、天王南中学校の生徒11名と、地域の自主防災組織のみなさん、潟上市赤十字奉仕団の方々30名が参加しました。



◀ ふうしきを使った三角布を作る「むずかしいナー」

昨年の東日本大震災の現場では、地元小・中学生が災害復旧や応急手当て・炊き出しなどに活躍し、地域の大きな支えとなりました。「天災は、忘れたころにやってくる」と言われてきましたが、今は「いつ、何時」起きるかわかりません。今回のボランティアスクールは、これらを踏まえて実施したものです。講師には、日本赤十字社秋田県支部の伊藤氏、武田氏、稲岡氏をお招きし、無洗米を使用した炊き出し体験や、三角布を使った救急法を指導していただきました。また、東日本大震災の避難所生活の様子を映像で紹介し、厳しい生活状況を説明しました。講師の稲岡氏から「ふうしきを使った救急法。万が一に備えた活用法は、「いざ」という時に役に立ちますので、『非常持ち出し袋』に一枚は入れておいてください」と、ご教示をいただきました。

生徒たちは、「炊き出しで作ったご飯が美味しかった」、「ふうしきでケガの応急処置から、災害時に使えるバッグを作ったりできるので驚いた」など、それぞれ感想を述べていました。

“備えあれば憂いなし”です。緊急時に対応した心構えを持ちましょう。

この度、ご協力いただいた日本赤十字社秋田県支部、潟上市赤十字奉仕団、飯田川鷺舞まつり実行委員会のみなさん、ありがとうございました。

●ひとにやさしいまちづくり探検隊  
体験して

むずかしいさがわかります

ひとにやさしいまちづくり探検隊が、七月三十一日・八月二日の両日、小学五・六年生を対象に、「すばく天王」で行われ、五十九名の児童が参加しました。

子どもたちは、車いすの介助・操作を秋田県車いす連合会の方々に教えてもらいながら、交流をとおして、「心のバリアフリー」について体験しました。



▽あぶない! 「むずかしいナー」

当事業は、「秋田県車いす連合会」、「ダイソー天王ショッピングセンター店」、「マックスバリュ天王店」の協力を得て、今年で八回目となります。

感想1

『車いすに乗って買い物をすることは難しいと思っただけ、助けてくれる人がいたのでもっとも楽に買い物ができる人かと思ったら、お手伝いをしてほしいと思います』

感想2

『車いすに初めて乗りました。自分でこぐのは難しかったけど、車いすバスケットボールが楽しかったです』

感想3

『車いす駐車場がなぜ必要なのか、実際に体験して分かりました。将来、車を運転するときはこの駐車場に絶対に停めないうようにしたいと思います』

ふれあい交流会

「笑いヨガ」で  
元気いっぱい!

6月20日・22日の両日、天王温泉くららを会場に、「ふれあい交流会」が開催されました。

この事業は、70歳以上の一人暮らしの方を対象に、参加者の親睦を深めるとともに、日頃の悩みや不安を軽減してもらうことを目的に実施しているものです。20日は天王地区、22日は昭和・飯田川地区の方々121名が元気に参加しました。

今回は、秋田初の笑い(ラフター)ヨガ認定ティーチャー 伊藤晴美さんを講師にむかえて「笑いヨガ」講座を楽しみました。この「笑いヨガ」は、笑いの体操(エクササイズ)とヨガの呼吸法を組み合わせた新しい健康法で、酸素が身体や、脳にもたくさん取り入れられ、エネルギーで健康であることを実感できるそうです。「嫌なことがあったときは、笑って吹き飛ばしたい」、「笑って楽しかった」「知り合いにも教えたい」と参加したみなさんは話していました。



△「手を上げて、大きな声で笑うと、すっきりしますよ」



△「ワッハッハ」と大きな声をはり上げると壮快です

天王南中学校GPTタイム

奉仕活動で汗がいっぱい



△花だんの草取りで、きれいになりました

天王南中学校が「天南中から発信！今私たちにできること」をスローガンに、七月二十日に全校生徒三百四十二名が一斉に地域貢献活動を実施しました。公共施設の清掃と地域の方との交流、出戸浜海水浴場クリーンアップ、アルミ缶・エコキヤップ回収、通学路クリーンアップと多岐にわたり地域の環境美化に取り組む、生徒一人ひとりが地域のことを考える一日となりました。生徒の声『地域の方々に指導していただくながらボランティア活動をするので、地域のみなさんに喜んでもらえてよかったです』



△芝生の雑草を取るのは大変です

地域の声『この地域で育った子どもたちが、地域の手伝いに来てくれるのはとてもありがたいことです。この子たちは、地域の自慢の子どもたちですよ』  
…と、それぞれ感想を述べていました。頑張り、かたがみっ子！

八月五日、「第五十四回手をつなく育成会秋田県大会」が北秋田市(鷹巣)で開催され、富浪哲子(飯田川下 虻川)さんが長年にわたる育成会活動が認められ、栄えある会長表彰を受けられました。今後とも、福祉活動にご尽力下さるようお願いいたします。

手をつなく育成会秋田県大会

富浪 哲子さんが 会長表彰受賞

この大会は、県育成会が県内各地を持ち回りで開催し、会員のみならず広く知的障がい者を抱えて



▷大会会場を前に富浪さん

秋田県身体障害者福祉大会 3氏が受賞



△(左から)佐々木さん、藤原さん、田仲さん

佐々木鉄雄さん(天王 下出戸) 田仲 若子さん(飯田川 飯浜下) 藤原美保子さん(昭和 元木)

八月一日、「第三十一回秋田県身体障害者福祉大会」が、秋田県民会館を会場に開催されました。

この大会は身体障がい者が自らその障害を克服し、自立と社会参加に努めた方々を表彰し、併せて生活の安全と福祉向上のために、県民の理解と協力を求めて開催されています。席上、長年の身体障がい者福祉増進の功績を称えられ、佐々木鉄雄さんが秋田県知事表彰、田仲若子さん・藤原美保子さんが秋田県身体障害者会長表彰をそれぞれ受賞しました。

午後から行われた芸能発表では、佐々木政光さん(天王 下出戸)が準優勝に選ばれました。皆様、おめでとうございます。

